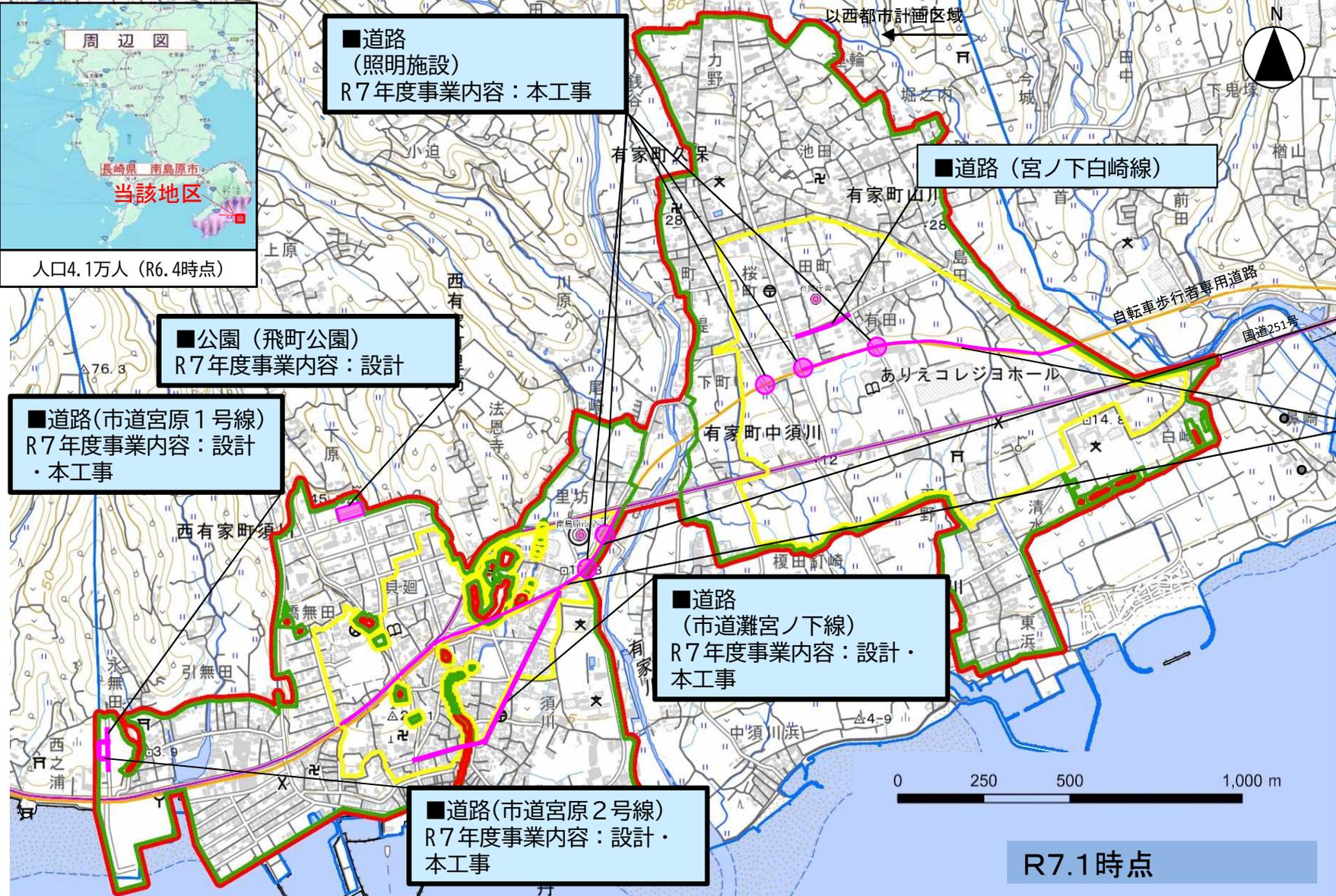


西有家・有家地区都市構造再編集中支援事業(長崎県南島原市)

- ◆事業概要: 南島原市の中心拠点地域として都市機能の充実を図っていくことを目的とする。道路網の強化を図ることにより、土地の有効活用と防災能力の向上につなげ中心都市として環境の整った地域を創設し、暮らしの賑わいづくりをすすめる。新たな観光資源となる自転車歩行者専用道路を軸に地域の魅力向上を図る。
- ◆事業主体: 南島原市 ◆面積: 259.2ha ◆交付期間: 令和7年度~令和11年度 ◆立地適正化計画公表時期: 令和7年3月
- ◆全体事業費: 547.0百万円 ◆交付対象事業費: 547.0百万円(国費: 269.2百万円) ◆国費率: 49.2%



■道路
(照明施設)
R7年度事業内容: 本工事

■道路(宮ノ下白崎線)

■公園(飛町公園)
R7年度事業内容: 設計

■道路(市道宮原1号線)
R7年度事業内容: 設計
・本工事

■道路
(市道灘宮ノ下線)
R7年度事業内容: 設計・
本工事

■道路(市道宮原2号線)
R7年度事業内容: 設計・
本工事



○関連事業
市道南島原自転車道線整備事業
(R2~R7) L=32.1km

□提案事業
自転車歩行者専用道路効果
促進事業

■高質空間形成施設
(景観照明)
R7年度事業内容: 本工事

□ : R7年度事業箇所

- : 都市再生整備計画の区域
- : 都市機能誘導区域
- : 居住誘導区域
- : 基幹事業
- : 提案事業

(参考)

○ : 関連事業

R7.1時点

にしありえ ありえ
西有家・有家地区都市再生整備計画事業
(都市局所管補助金)

1. 概要

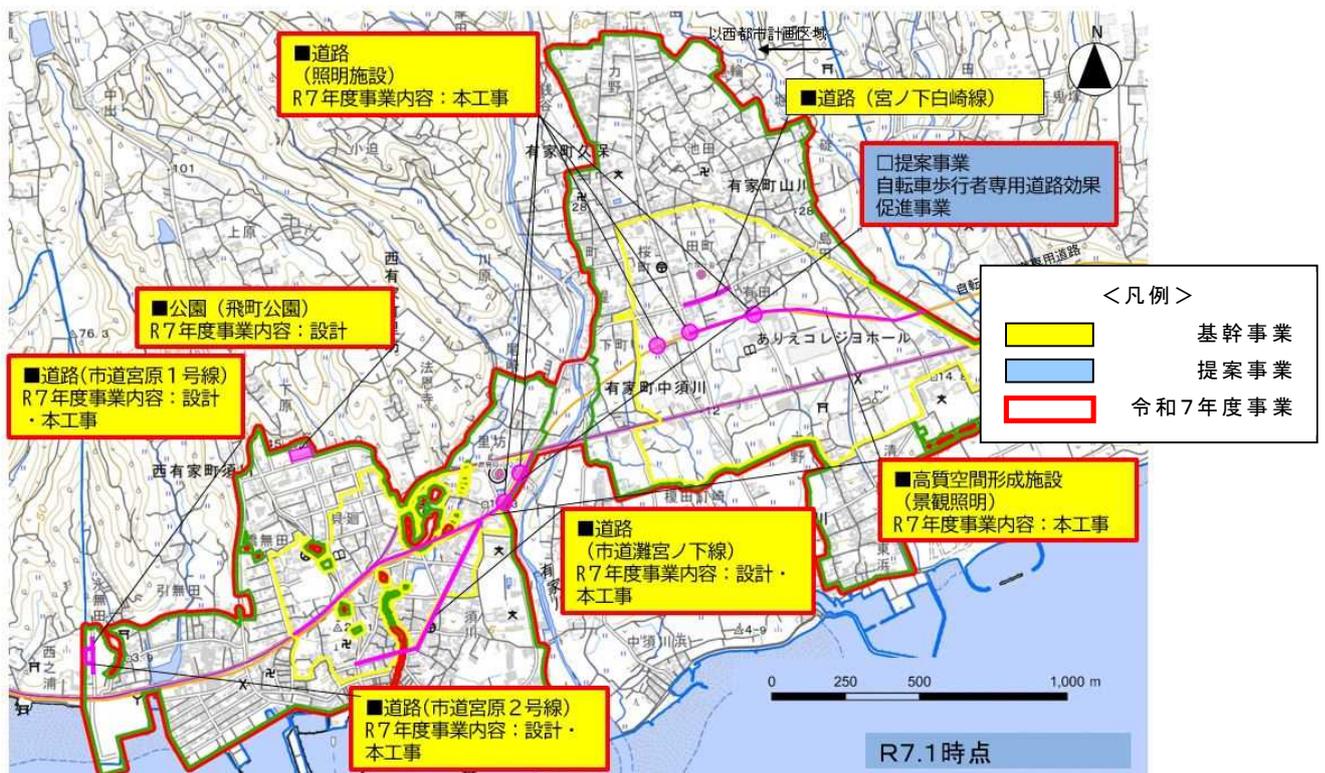
本地区は長崎県の南東部に位置する南島原市の中心部の地区であり、市の中心拠点として行政や医療など多様な都市機能の立地、集積を図る必要がある地域である。しかしながら、人口減少が進んでおり、このままでは都市機能の維持が困難になる。

このことから、本地区に都市機能を維持していくための人口集積を図ることを目的とし、道路整備事業と高質空間形成事業による都市構造再編を行い、住民が安全で安心して住み続けることができるまちづくりを行っていく。

令和7年度は道路整備、自転車歩行者専用道路の道路照明設備と景観照明の整備、公園設計業務を行う。

2. 計画内容

所在地：長崎県南島原市
事業主体：南島原市
面積：259.2ha
交付期間：令和7年度～令和11年度
全体事業費：547.0百万円
交付対象事業費：547.0百万円
(国費：269.2百万円)
事業内容：道路、高質空間形成施設、公園ほか



都市再生整備計画

にしありえ ありえ
西有家・有家地区

ながさき みなみしまばらし
長崎県 南島原市

令和7年3月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	長崎県	市町村名	ミナミシマハラ 南島原市	地区名	ニシアリエ アリエ チク 西有家・有家地区	面積	259.2	ha	
計画期間	令和	7 年度 ~	令和	11 年度	交付期間	令和	7 年度 ~	令和	11 年度

<p>目標</p> <p>大目標:住み続けたい、住んでみたいまちみなみしまばら 目標1:西有家・有家地区の魅力向上 目標2:安全安心に暮らせるまちづくり 目標3:世代を問わず暮らしやすいまちづくり</p>
<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) 南島原市の総人口は減少の一途を辿っており、生産年齢人口及び年少人口は減少が続いている。高齢人口は増加を続けていたが今後は減少へ転じる予想となっている。一方で、高齢化率は上昇の一途を辿っており令和15年には5割を超える見込みである。また、本市は島原市と雲仙市に隣接し、主な公共交通機関は、路線バスとチヨイソコみなみしまばらである。 今後は、高齢者がいつまでも安心して住み慣れた地域で暮らせるまちづくりを目指し、高齢者の日常生活に必要なサービスを受けることが困難とならないよう、移動手段である公共交通の維持を図る必要がある。 南島原市は旧8町が合併し、既に一定程度の人口集積が見られ、現状の生活サービスを維持する基礎が存在している。しかしながら、今後さらなる人口減少・高齢化の進行が予想され、効率的なまちづくりが求められる中、持続可能なまちづくりを実現させるためには、集約した地域を中心とし、求心力のある賑わいのあるまちを形成することが必要となる。 これらを踏まえ、市全体として持続可能なまちづくりを行ううえで、コンパクトなまちづくりを行い、地域の人口密度を維持し、それらを公共交通ネットワークで繋ぐことが必要である。当地区においては、現に残っている商店街沿線にカラ一舗装を行い、地元商店街への賑わいを取り戻す。また、現在整備推進中の自転車歩行者専用道路を最大限に活用し、新たな観光資源として市にぎわいをもたらすよう整備を行っていく。また、魅力ある空間としていくことで観光客、地元住民の交流の場となる空間づくりを行う。さらに日常的に利用できる空間となることで、健康増進、災害時の避難道路としての利活用など多方面の利用を推進する。 公共交通である路線バスの運行ルートも一部幅員が狭く離合が困難な市道もあり、道路改良工事を実施し公共交通を維持することにより、都市機能の拡散防止と中心市街地の公共・公益サービス機能の維持を図り、賑わいのあるまちなかを創出する。</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>本市は平成18年3月31日に深江町、布津町、有家町、西有家町、北有馬町、南有馬町、口之津町、加津佐町が合併して誕生。長崎県の南東部、島原半島の南部に位置し、南は有明海に面している。本地区は自然に恵まれ農業や製麺等の製造業をおもな産業として発展してきた。水田の多くは河川沿いに、畑や果樹園は丘陵地に位置している。近年は農家人口の減少、高齢化、後継者不足の傾向が顕著である。今後も人口減少することが予想されており南島原市を持続可能なまちとするため、立地適正化計画を策定し、「これからも 住み続けたい 住んでみたいまち みなみしまばら」を目指し集約型都市構造に向けた取り組みを行う。 当地区では、温暖な気候を生かした水稲や野菜、果樹、葉タバコなどの農業が盛んである。国道沿線においても、現にも多くの農地が存在している状況である。平成9年には当該地区において大型スーパーが営業開始。この大型店舗出店を契機に、地元商店街の衰退が顕著となり、個人商店は徐々に廃業して行った。その後も、大型店舗の進出が続き地元商店街は衰退している。また、本年度は比較的大きな診療所の廃業もあり、都市としての求心力も低下してきている。一方で、江戸時代から日本酒、味噌、醤油の製造が行われてきた蔵元が市街地に現在もあり、古いまちなみなど歴史的資源も残されている。 風呂川地区では昭和54年から平成6年にかけて地区内において、公共施設の設備改善及び宅地の利用増進を図ることを目的とし、将来の西有家町(当時)の中心として病院等の主要な公益施設を核とする良好な住宅市街地を整備するため土地区画整理事業を実施した。</p>
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の中心拠点として良好な住環境を整備し、暮らしやすいまちづくりを行う必要がある。 ・自転車歩行者専用道路の全線開通に伴い、利用者数増加による事故を未然に防ぐとともに新たな観光資源として魅力ある空間づくりが必要である。 ・歩行者や自転車利用者が安全に通行できる空間を整備し、区域内及び周辺地域への回遊性を向上させる必要がある。
<p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>南島原市立地適正化計画(令和7年3月策定) ※令和6年12月ごろ記載</p> <p>南島原市都市計画マスタープラン(2012-2037)(平成25年3月策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境と調和した循環型のまちづくり ・世界的な歴史遺産をはじめ郷土文化をみんなで守り活かすまちづくり ・農業をはじめとする地域全体の産業振興を図り、雇用機会を拡大するまちづくり ・地域で支えあう充実した保健・医療・福祉のまちづくり ・子育てから学校教育、生涯学習・スポーツなどが一体となった人づくりのまちづくり ・尊い生命と貴重な財産を守る防災、防犯、交通安全のまちづくり ・地域高規格道路をはじめとする交通体系や情報基盤など、便利で快適な市民生活を支えるまちづくり ・市民協働を基本に、人権が尊重され男女が平等に暮らせる社会を構築し、効果的・効率的で持続可能な行財政運営を行うまちづくり <p>第Ⅱ期南島原市総合計画 後期基本計画(2023-2027)(令和5年3月策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽の恵みと地域資源を活かし、安定した雇用を生み出す ・地域の価値を高め、多様な交流により活力を生み出す ・結婚、出産、子育ての希望をかなえる ・健康で安心して暮らせる魅力的なまちをつくる

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>目標1: 西有家・有家地区の魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の中心拠点として定住人口や都市機能の維持に向け地域の安全性や快適性を高めるため、インフラ整備を行う。 ・平成6年の区画整理事業と併せて整備された飛町公園のトイレ建て替えを行い、近隣住民の生活環境を向上させ住みやすく子育てがしやすい環境づくりを行う。 ・自転車歩行者専用道路全線開通に伴い新たな観光資源として整備を行う。 	<p>【基幹事業】(道路)宮ノ下白崎線整備事業 【基幹事業】(道路)市道宮原1号線整備事業 【基幹事業】(道路)市道宮原2号線整備事業 【基幹事業】(道路)市道灘宮ノ下線整備事業 【基幹事業】(高質空間形成施設 景観照明) 【基幹事業】(公園)飛町公園トイレ改築工事事業 【提案事業】(地域創造支援事業)自転車歩行者専用道路効果促進事業</p>
<p>目標2: 安全安心に暮らせるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全を確保するために道路整備を行い、安心して子育てができる環境を整える。 ・自転車歩行者専用道路全線開通に伴い利用者数の増加が見込まれるため、事故、事件を未然に防ぐ策として街路灯の整備を行う。 	<p>【基幹事業】(道路)宮ノ下白崎線整備事業 【基幹事業】(道路)市道宮原1号線整備事業 【基幹事業】(道路)市道宮原2号線整備事業 【基幹事業】(道路)市道灘宮ノ下線整備事業 【基幹事業】(高質空間形成施設 照明施設) 【基幹事業】(高質空間形成施設 景観照明) 【関連事業】市道南島原自転車道線整備事業</p>
<p>目標3: 世代を問わず暮らしやすいまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基盤整備を行い、生活環境の改善を図ることにより誰もが暮らしやすい環境を整える。 	<p>【基幹事業】(道路)宮ノ下白崎線整備事業 【基幹事業】(道路)市道宮原1号線整備事業 【基幹事業】(道路)市道宮原2号線整備事業 【基幹事業】(道路)市道灘宮ノ下線整備事業 【基幹事業】(高質空間形成施設 照明施設) 【基幹事業】(高質空間形成施設 景観照明)</p>
<p>その他</p>	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	547.0	交付限度額	269.2	国費率	0.492
---------	-------	-------	-------	-----	-------

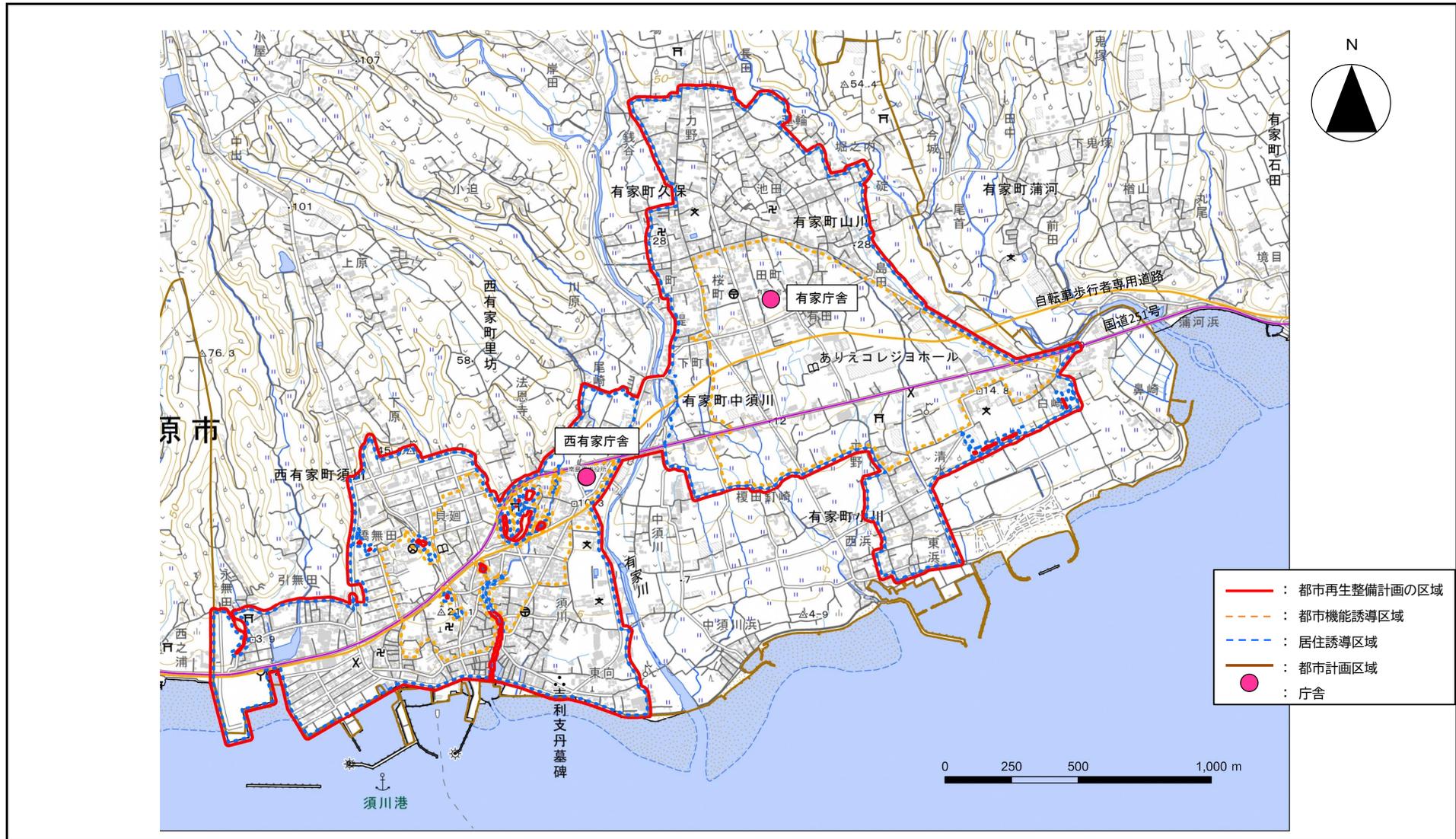
(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路		市道宮ノ下白崎線	南島原市	直	L=190m	R8	R11	R8	R11	304.8	304.8	304.8	0	304.8	
		宮原1号線	南島原市	直	L=165m	R7	R8	R7	R8	30.0	30.0	30.0	0	30.0	
		宮原2号線	南島原市	直	L=200m	R7	R8	R7	R8	40.0	40.0	40.0	0	40.0	
		市道南島原自転車道線(照明施設)	南島原市	直	5基	R7	R7	R7	R7	5.8	5.8	5.8	0	5.8	
		灘宮ノ下線	南島原市	直	L=680m	R7	R9	R7	R9	140.0	140.0	140.0	0	140.0	
公園		飛町公園	南島原市	直	A=12㎡	R7	R8	R7	R8	15.0	15.0	15.0	0	15.0	
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設															
高質空間形成施設		市道南島原自転車道線(景観照明)	南島原市	直	32基	R7	R7	R7	R7	6.0	6.0	6.0	0	6.0	
高次都市施設	地域交流センター														
	観光交流センター														
	テレワーク拠点施設														
	賑わい・交流創出施設														
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
誘導施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設														
	子育て支援施設														
	元地の管理の適正化														
基幹的誘導施設															
既存建造物活用事業	高次都市施設														
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
復興促進事業															
エリア価値向上整備事業															
子どもまんなかまちづくり事業															
合計										541.6	541.6	541.6	0	541.6	…A

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
地域創造支援事業	自転車歩行者専用道路効果促進事業	西有家庁舎周辺	南島原市	直		R7	R7	R7	R7	5.4	5.4	5.4	0	5.4	
事業活用調査															
まちづくり活動推進事業															
合計										5.4	5.4	5.4	0	5.4	…B

西有家・有家地区(長崎県南島原市)

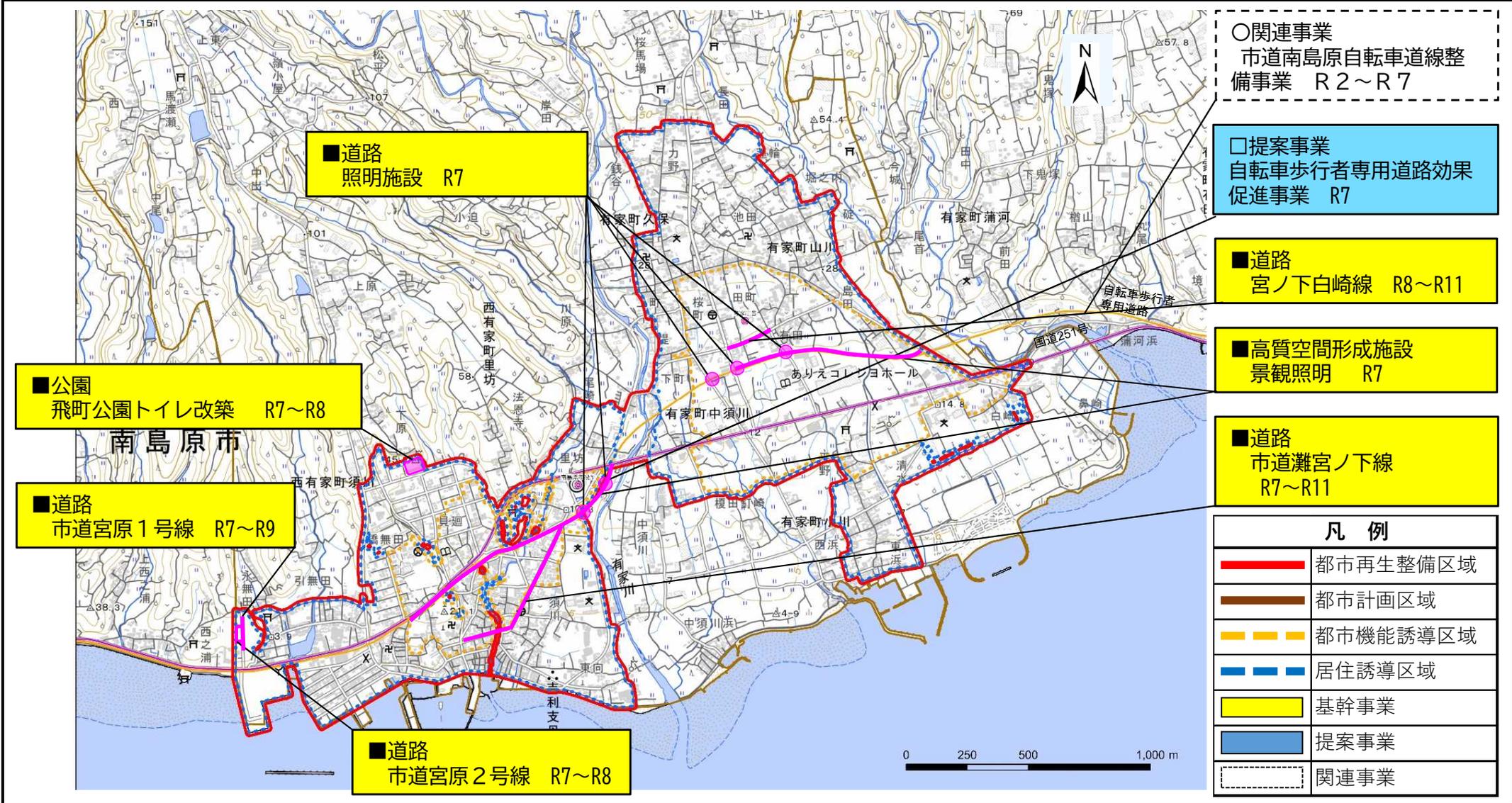
面積	259.2 ha	区域	南島原市有家町蒲河、山川、小川、中須川、久保、尾上の各一部 南島原市西有家町里坊、須川の各一部
----	----------	----	--



- (Red solid line) : 都市再生整備計画の区域
- - - (Yellow dashed line) : 都市機能誘導区域
- - - (Blue dashed line) : 居住誘導区域
- (Brown solid line) : 都市計画区域
- (Pink circle) : 庁舎

西有家・有家地区(長崎県南島原市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	大目標:住み続けたい、住んでみたいまちみなみしまばら	代表的な指標	まちの暮らしやすさ (%)	23.8	(R5年度)	→	24.8	(R11年度)
	目標1:西有家・有家地区の魅力向上		歩道の歩きやすさ、自転車や	9.3	(R5年度)	→	10.3	(R11年度)
	目標2:安全安心に暮らせるまちづくり		車いすなどの利用しやすさ (%)					
	目標3:世代を問わず暮らしやすいまちづくり		()		(年度)	→	(年度)	



■道路
照明施設 R7

■公園
飛町公園トイレ改築 R7~R8

■道路
市道宮原1号線 R7~R9

■道路
市道宮原2号線 R7~R8

○関連事業
市道南島原自転車道線整備事業 R2~R7

□提案事業
自転車歩行者専用道路効果促進事業 R7

■道路
宮ノ下白崎線 R8~R11

■高質空間形成施設
景観照明 R7

■道路
市道灘宮ノ下線 R7~R11

凡例	
	都市再生整備区域
	都市計画区域
	都市機能誘導区域
	居住誘導区域
	基幹事業
	提案事業
	関連事業